

1 番：

さあ、いっしょに何かしよう。乗り物に乗って、出かけようよ。
太陽が輝き、そよ風がふく、海に出るんだ。
ボートに乗って、順風満帆だよ。
今日みたいなすてきな日にはね。

いかりを上げ、
明るい水平線へ向かって、いざ出発。
どこまでも青い、海の上をすべろう。
まるで空みたいに青い海の上をね！
みんな、君のために造ったんだよ。
わたしが君をどんなに愛してるか、見てわかるようにね。

コーラス：

海があり、君がいる。
それにわたしもいっしょだって、わかってるね。
光の中でいっしょに笑い、
嵐の中もいっしょに乗りこえる。
波がすごく高い時、
こわくて泣きそうになる時も、
ただ、わたしの手をにぎっていたらいいんだよ。
ちゃんと切りぬけられるからね。
いっしょにいれば、だいじょうぶだよ。
わたしと君がいっしょにいればね。

2 番：

波が高くなり始めたんだね。
どうして嵐が来るのかって？
空はもう青くない。わたしは今でも
君を愛してるかだって？
どうして嵐が止まないのかって？
わたしは海がおだやかな時、
君を愛してる。
そして嵐の時も、君を愛してるよ。
わたしの愛は天気とちがって、
変わることはないんだ。
だから、しっかりとつかまって、
逃げちゃだめだよ。
これは、船旅には
つきものなんだ。
いっしょに船旅できて、
本当にうれしいよ。

(コーラスを
3回くり返し)

わたし と君

